

大衆文学研究会——入会のご案内

【大衆文学研究会とは】大衆文学・文化に関する作品・作家，その他についての研究会・講演会・見学旅行・懇親会などを通して，会員各自の知識を高め，相互の交流や親睦を深めると共に，ひろく大衆文学・文化の向上と育成をはかることを目的とした集まりです。

【会員の資格】会の主旨に賛同する人であれば，入会金及び会費を納入することによって誰でも参加できます。作家・評論家・編集者など大衆文学・文化の研究や創作・創造を志す人をはじめ，大衆文学・文化に関心を持つ一般の愛好家も多数参加しております。

【会の活動】本研究会は，会の目的・主旨に沿って，つぎのような活動を行なっています。

- ◎会誌「大衆文学研究」（年2回刊）の発行。
- ◎大衆文学研究賞（研究考証部門・評論伝記部門）の主宰・運営。（年一回，12月授賞式）
- ◎原則として隔月に，以下のいずれかの会合・催しを行なっています。
 - ①研究例会。②講演会。③歴史と文学の旅。④日帰り文学散歩。⑤懇親会。⑥その他。

【会員の特典】「大衆文学研究」が無料で送付されます。研究例会のほか会の催しに自由に参加できます（そのつど会員に通知します）。会報に投稿することができます。

【会費】入会金10000円。年会費（4月1日より翌年3月31日まで）12000円です。（ただし10月1日以降入会の方は半額の6000円）。納入は現金書留か郵便振替（振替番号「00100-3-34927」）をお願いします。なお研究例会等会の催しの際にも随時会費納入を受け付けます。

大衆文学研究会本部事務局

〒187-0031 東京都小平市東町1-2-21-3田辺方
TEL・FAX 042-344-0931

編集後記

●本号（一四〇号）の特集は「大衆文学研究賞」、会員外で受賞された方々を中心に「研究賞と私」といった趣きのエッセイをお願いいたしました。

幸い、大村彦次郎、出久根達郎、植村頼音、校條剛、高三啓輔、高橋敏夫、古川薫、平岡正明、藤倉四郎、長山靖生、秋元藍の諸氏から原稿をお寄せ頂きました。

●研究賞の第一回は一九八七年、以来、前会長尾崎秀樹氏が急逝された一九九九年を除いて、第二〇回の二〇〇七年まで、遅滞なく続いてきました。その全受賞作品の一覧と各賞の「選評」および「受賞のことば」を収録しました。●好評の峯島正行氏の「尾崎秀樹の世界」は第八回となります。

△原稿募集△会員の皆さんからの原稿を募集します。大衆文学・文化に関わる論文・評論・エッセイに限ります。枚数は四百字十枚〜二十枚の範囲です。ただしエッセイに限り四百字三枚もしくは六枚でお願いします。

△おねがい△本を出版（著書、共著書）した方は、必ず事務局までハガキでけっこうですから、一報ください。また受賞（文学賞に限らず）、出版記念会予定等も、ぜひお知らせください。

大衆文学研究会＝入会申込書

ふりがな 氏名	筆名	生年 月日	明・大 昭・平 年 月 日
住 所	〒 TEL		
職 業 所属団体	勤務先 住 所	〒 TEL	
専 門 関心分野			
会 費 (入会年月)	[年 月 日] に入会金10000円および 会費 { 半年分 6000円 } を納入 { 現金書留 } しました。 { 一年分 12000円 } { 郵便振替 }		

事務局だより

●研究会に関心のある方にぜひ入会をおすすめください。また研究例会にもご友人などお誘いください。会費は、十月以降入会の場合は初年度六千円です。なお、会費未納の方、至急納入のほどを。未納分はつきりしない方は、事務局にお問い合わせください。

●事務局へのご意見・ご要望、遠慮なくお寄せください。会報の特集案のご希望等もぜひお寄せください。

●例会・研究会にはぜひご出席を。会のあとには、楽しく飲みながらの懇親会があり、好評です。

大衆文学研究 第一四〇号

二〇〇八年十二月三十日発行

編集人 田辺貞夫

発行人 早乙女貢

発行 大衆文学研究会

事務局

〒187-0031 東京都小平市小川東町1-2-21-3
TEL・FAX 042-344-0931 (田辺方)

印刷所

(株)アズマ企画